



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE  
**T O S Y ' S**  
 東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日  
 チャーター認証日 1989年5月 2日  
 チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE  
 2-18-12,NISIWASEDA,SHINJUKU-KU,TOKYO  
 PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後5：00  
 (但し、12月・4月は山中湖センターで土日)  
 第二例会：翌々週火曜日 午後5：00

2025年5月号ブリテン 第411号

2024-2025年度主題(Thema) IBC：台北ユニオン DBC：東広島・京都プリンス

会長	御園生 好子
副会長	小山 久恵
書記	大森 裕子
会計	大谷 博愛
直前会長	長津 徹
担当主事	鳩山 徹郎

Our Motto	国際標語	「共により良い世界を」
国際会長	シャナヴァスカーン	「立ち上がろうそして輝こう」 (インド)
アジア太平洋会長	ジョウン・ウォン	「大きなインパクトを起こそう」 (台湾)
東日本区理事	山田 公平	「ワイズの方向性を見極める」 (宇都宮)
あずさ部部長	ピーター・マウントフォード	「めあて望み」 (甲府)
サンライズ会長	御園生 好子	「原点を見つめさらなる発展を」

5月第一例会のお知らせ

とき 5月8日(木) 17:00～  
 ところ 東京YMCA山手センター  
 かいひ 500円

◆プログラム

開会点鐘	会長
ワイズソング・ワイズの信条	一同
卓話『聞くだけでない体験した東南アジア』	卓話者 江東クラブ鈴木雅博メン
協議・報告・連絡事項	会長・各担当者
にこにこ・一分間スピーチ	出席者全員
閉会点鐘	会長

5月以降の予告

5月10日 第3回あずさ部富士北麓評議会  
 5月20日 第二例会

5のハッピーバースデー

菰淵光彦さん 5月13日

4例会出席者

8名  
 (出席率 66%)

4月第一例会報告

大谷 博愛

4月10日 17時からサンライズ第一例会が山手センタ

ーで行われました。卓話者はYMCA 同盟の横山由利亜さんで、YMCAが行っているウクライナ避難者に対する支援活動について話していただきました。この活動はテレビの報道番組でも度々取り上げられ、今や横山さんはウクライナ問題の専門家として「時の人」となっています。



行政が行う支援活動は公営住宅の提供、期限付き資金援助といった画一的かつ限定的なものに限られ、生活の中身に踏み込んだ支援は行っていません。その部分におけるYMCAの支援活動に対する行政の期待は大きく、東京都との協働が展開されているとのことです。さらに、在日ウクライナ人コミュニティとの連携を期待してウクライナ大使館からYMCAに対して1億円の寄付金があったことには驚きました。いずれにしても、ウクライナ避難者支援についてYMCAへの期待がいかに大きいかが分かりました。年齢や職業などウクライナ避難者の背景が多様なので、それに応じて生活上の問題や悩みも様々であることに気付かされました。日本定住かウクライナ帰国か将来の希望によっても異なるきめ細かな対応が必要であるということです。ウクライナと平和を祈るにしても支援するにしても、我々自身が意識すべきことを学ぶことができました。

会場の出席者は、メンバーが今村さん、小山さん、菰淵さん、松本さん、御園生さん、大谷、鳩山主事、(準メン

バー)、ビジターが大輪正史さん、小川圭一さん、山口直樹さん、卓話者の横山由利亜さんの16名。



## 2025年度5月東広島クラブ30周年例会報告

菰淵光彦

参加者：御園生好子会長、菰淵 光彦

東広島ワイズメンズクラブ創立30周年記念例会は2025年4月19日(土曜日)14時から会場を広島YMCA本館4階の会議室で開催されました。

2024-2025 東広島クラブ会長主題は「先達の足跡が導くワイズの笑顔」というテーマで始まりましたが、今期は創立30周年を迎える告知のために、毎月のブリテンに、案内。キャッチフレーズのコピーとして「3人でもできる」という合言葉で工夫されて、式典参加のピーアールを呼びかけてられました。



阿武(あんの)朋子会長は、書記・EMC・国際/交流、ブリテン・メール委員、地域奉仕、環境をなんと兼任されて

いて、副会長は空席、会計の光村(みつむら)悦子さんは、ファンドと広報を兼任。監事は、空席、メネットも空席。担当主義の平岡正春さんはYサ/ユースを兼任。合言葉は「3人でもできる」という開催月が近づくにつれて、全体が見えてくるブリテンを飾り、広告効果をバツグンに高めたことで、50人近くの方々が参加されました。これを業界ではティーザーアドと言う手法で、売り上げや、集客が倍になるテクニックとして有効になるとのこと。東広島クラブでは、昨年の西日本区大会で「環境・地域奉仕の部」の最優秀クラブ賞を受賞され、更には「ウォーターセーフティハンドブック」の無償配布、大人のためのバードウォッチング入門など、活躍をされています。今回も、東広島市教育長が隣席され、これからの東広島ワイズの活躍がますます期待されています。

第一部は記念例会で、御園生好子会長が東京サンライズクラブのDBCクラブとして、ご挨拶いたしました。



第二部は記念シンポジウム。阿武会長がファシリテーターを務め、テーマ「東広島にそよぐ異文化の風」広島大学人間社会学研究科博士課程 大学院生・シンポジスト キンコイさん(中国)

アヌニワッタ タナチャットさん(タイ)

お二人とも日本が大好きな、素直な研究者でした。日本で貢献したいとの事でした。

第3部 記念祝会(懇親会)2号館に移動

地下 コンベンションルーム

家守広島YMCA総主事をはじめ、西日本区ワイズメンズクラブの皆さまと、東広島のお酒を頂きながら、京都プリンスと東広島クラブとサンライズの今秋、酒まつりでの再会を約束して、第四部の参加は広島から日帰りで帰京のため失礼させて頂きました。

## 飯野さんを偲んで

御園生好子

飯野毅與志さん(享年 71 歳)

4 月 12(土)未明に召天されました。



2 月より長野県駒ヶ根市のグループホーム「愛の国」に転居され、その後、癌の症状が進み入院されていました。退院後はアクアホームという老人施設に入所していました。YMCA が大好きで

幼少の頃からキャンプ等に参加し、その後、ワイズメンズクラブへ入会されました。熱心なクリスチャンで早稲田教会に所属し最後まで牧師先生達がお世話なさいました。私には毎朝晩ラインメールが来ていましたが 3 月 20 日のメールが最後になりました。飯野さんのご冥福をお祈りいたします。

## ひよこのつぼやき vol:264

山本剛史郎(川越)

1998 年 10 月に川越ワイズメンズクラブはチャーターしましたが、私はそのチャーターメンバーの一人でした。27 歳でワイズメンズクラブの一員になったのですが、その経緯を書き始めてしまうとこの紙面では足りないのです、それはまた別の機会です。それから川越クラブで「アースデイ in 川越」、「異文化理解講座」など活動を行ってきたのですが、10 年ほど経った時にワイズメンを辞めようと思いました。特に川越クラブでの活動に不満があったわけではないのですが、何度か退会を考え出しました。しかし、そのように考えている時、関東東部の国際・交流事業主査となり、関東東部評議会に出席するようになりました。それまでクラブ内での活動は行っていたものの、対外的な活動はあまりしてこなかったのですが、関東東部評議会、部大会と出るようになりました。そこから東日本区の地域奉仕事業主任、書記など務めさせてもらいました。そうすると関東東部大会だけでなく東日本区大会、アジア太平洋地域大会、世界大会へも出るようになりました。そこでワイズメンの知り合いが埼玉だけでなく、東京、千葉、茨城など関東東部へと、そして北海道から九州・沖縄まで日本全国へと広がり、さらには

フィリピン、インド、ネパールなど海外へも広がりました。そうすると辞めるに辞められなくなりました。そうして 26 年間に過ぎ、現在でも続いています。

ワイズメンズクラブには、地域社会への「奉仕活動」と国内を問わず世界的な「交流活動」という 2 つの魅力を持った団体だと思います。クラブ内での例会や奉仕活動はもちろん重要ですが、部・区・地域・国際大会へと外への活動を広げることによって、他クラブのメンバーとの出会いや対話の機会が豊富に設けられているという魅力があります。また、最近ではオンラインを活用した交流も活発になっており、地理的な制約を越えたつながりが可能になっているのも重要です。さらに、ワイズメンズクラブの国際性は、異文化交流の促進にも一役買っています。海外クラブとの IBC(International Brother Club) や BF (Building Fellowship) 活動を通してクラブ間の交流を深め、言語や文化の違いを超えた深い理解と友情が育まれています。ワイズのみなさん、外に出よう！2013-14 年 東日本区理事としての活動—「いざ立て」を主題に掲げて。

## 4 月第 2 例会報告

大森裕子

4 月 22 日、山手センターで 5 時から開かれました。ブリテンの原稿の担当の割り振り、今後の予定の決定、および 6 月に開催されるあずさ部評議会と東日本区大会に出席するかどうかの確認が行われました。

出席者 蔣淵、御園生、今村、大森、

## 山中湖センターの様子

山中湖センター 荒木 暁

春の陽気を感じるようになって来た山中湖センターは、水仙の黄色い花やこぶしの白い花で色鮮やかになってきました。そして、キャビン前に植えられた桜も開花しました。とても綺麗なピンクで昨年以上に花の色が鮮明な感じで、見る者の心を奪うほどの美しさです。

山中湖から見える富士山は 3 月に降ったドカ雪でまだ雪化粧中です。青空と富士山の雪の白と素敵な風景に心癒されています。また、キツツキが木を突く音もシジュウカラの囀りもとても心地良いです。これからまた山中湖センターを利用してくれる方々の賑やかな声も楽しみの一つです。新しい年度を迎え気持ちを引き締めながら、伝統ある山中湖センターを守り続けていきます。



## YMCA ニュース

山手センター 鳩山徹郎

### ★東京YMCA総主事就退任式★

3月29日、「東京YMCA総主事就退任式」が古賀博牧師（東京YMCA評議員会会長／日本基督教団早稲田教会）の司式により日本基督教団霊南坂教会にて開催され、東京YMCAや全国YMCAの関係者125名が参列した。「ひび割れた世界のなかで」と題した古賀牧師の説教に続き、星野太郎新総主事から誓約があり、菅谷淳前総主事から聖書が引き継がれた。後半のミニコンサートでは、飯靖子氏（東京YMCA理事／日本基督教団霊南坂教会オルガニスト）のオルガン演奏と東京YMCA高等学院トーンチャイム部の演奏を楽しんだ。



### ★【感謝報告】第34回東京YMCAチャリティーゴルフ大会 78人が参加★

4月10日、「第34回チャリティーゴルフ大会」がPGM総成ゴルフクラブ（成田市）で開催され、21組78人が参加した。益金約45万円は能登半島災害復興支援募金及びフレンドシップファンドとして用いられる。

### ★【感謝報告】クラウドファンディング「外国にルーツ

のある子どもたちに学びと体験の場を！」★

2月1日にスタートした外国にルーツのある子どもたちの支援活動のためのクラウドファンディングが4月18日に終了した。目標額250万円に対して149人から3,115,000円が寄せられた。また、様々な背景を持つ子どもたちにYMCAのプログラムを提供するための、クラウドファンディングを用いた継続寄付制度「YMCA子ども未来応援サポーター」も開始した。

### ★【ミャンマー地震】緊急支援募金 ご協力をお願い★

ミャンマーで3月28日に大規模な地震が発生し、ミャンマーYMCAから日本YMCA同盟に緊急支援要請があったことを受けて、全国のYMCAは「ミャンマー地震緊急支援募金」を開始した。東京YMCAでは4月17日に高田馬場駅周辺で街頭募金を実施した他、各地域で募金活動を行っている。また東京YMCAと交流のあるネピドーYMCAとも直接連絡を取り、日本YMCA同盟と連携しながら支援を行っていく予定。

### 編集後記

ブリテン5月号をお届けします。桜の後は新緑の美しい季節になりました。暑くもなく寒くもなく、過ごしやすい気候で、お出かけにはぴったりですね。緑のなか、心地よい風を受けながら森林浴でもしたいです。それでも、地球温暖化の影響か、最近では5月でも真夏日になることもあり、熱中症への対策も怠れません。爽やかな季節がどんどん短くなっている気がします。今のうちに新緑と爽やかな風を楽しみ、来るべき梅雨と夏に備えましょう。

